

# これからのまちづくりの方向性

過去5年間の人口の推移を見ますと、転出者が転入者を上回り、さらに出生数の低下により自然減となっているため、毎年人口が減少しています。

この人口の減少は、労働力人口の減、消費者の減ともなう市場の縮小、また、経済の中長期的な成長に影響をおよぼすおそれがあると思われます。また、税収が減少する一方で、高齢化による社会保障費・医療費が増大するなど財政が硬直化し、行政サービスが低下する要因となることも考えられます。さらに都市部との経済力の格差の一層の拡大、地域社会の活力、自治会や集落機能の低下、耕作放棄地の増加や、森林の荒廃による自然災害の発生危険度の増大など、大きな影響が生じると予想されます。

これらを踏まえ、定住化対策として、町が抱えている課題・取り組みについて、松田町の自然環境、交通網、安全対策、福祉環境なども考慮し、検討する必要があると考えます。

総合計画の策定にあたり、地域住民の参加を得て、町民と町の協働による定住化対策を検討していくためにも、人口減少の現状、人口減少が地域にもたらす影響など、積極的に情報を発信し、町民との対話により相互理解を図るとともに、一緒に考え、町民の要求から提案へと町民の主体性の発揮を促すことが必要であると考えております。



## まちづくりの基本的課題

- (1) 町民や来訪者が住みたい、訪れたいと思う魅力をどうつくるか
- (2) 小さなまちでの暮らしやすい環境をどう考え、充実していくか
- (3) まちの活力につながる交流と暮らしの関係をどう考えるか
- (4) 持続的なまちづくりをだれが担っていくのか
- (5) 小さなまちの限られた財源と人材でこれからどのようなまちづくりを進めるか

## まちづくりの基本姿勢

- (1) 町民の誇りと愛着を育む松田らしさ－魅力づくり
- (2) だれもが住み続けることができるまちづくり－住みやすさづくり
- (3) 小さなまちだからできるまちづくり－持続的なまちづくり

